

テンバガー・クラフティアの「虎の穴」 技能職、4人相部屋で鍛える－九州・沖縄 フロントライン

2026/06/04 05:00 日本経済新聞電子版 1630文字

クラフティアは12年間で株価が10倍になった「テンバガー」銘柄だ。2027年3月期は4年連続の最高益更新を見込む。好業績と成長期待を支えるのが約2300人の技能職社員。石橋和幸社長が「最重要拠点」と話す育成施設を訪ねた。

買い物客でにぎわう大型商業施設、鳥栖プレミアム・アウトレット（佐賀県鳥栖市）のすぐそばに研修施設「クラフティアアカデミー」（同県基山町）は立地する。屋外実習場には大小さまざまな電柱が数十本ずらりと並ぶ。

訪ねたのは5月下旬。4月に入社し配電工事部門に配属された新入社員は、すでに実習用の電柱にすいすいと登れるようになっていた。まず高さ2メートルの電柱から始め、徐々に慣れさせて最終的には15メートルの電柱まで登れるようにするという。

5カ月間ある研修期間の後半では、電柱の上で変圧器などの機器を取り付けたり、電線を張ったりする訓練を積む。9月には九州各地に赴任し、九州電力送配電から請け負う配電工事に取り組む。台風被害の復旧作業にもあたりながら一人前の技能職になっていく。

アカデミーは新入社員をはじめクラフティアの人材育成を一手に引き受ける「最重要拠点」（石橋社長）との位置づけだ。年度前半は事務職を含む新入社員の研修、後半は管理職や新任所長といった階層別の研修などをする。

約50人の指導員が在籍し、新入社員研修の時期は各地の支店・営業所から約30人の現場社員も応援で指導にあたる。新入社員は学歴や部門が異なる4人が一室で寝食をともにする。

アカデミーの大石雅和学長は「クラフティアは技能を重視する会社。同業他社よりかなり丁寧に技術を教えている」と話す。例えば電気工事部門では、工具の使い方や電線の被覆のむき方など基礎からたたき込む。

同社の姿勢が表れているのが「技能五輪実習室」の存在だ。若手が職業技能を競う技能五輪には1964年に初出場し、これまでに全国大会で金賞を12回獲得した。出場資格が23歳以下のため新入社員から希望者を募って選抜。常時4～5人の選手が日々鍛錬に励む。石橋社長は「技能系のモチベーションの高さにつながっている」と話す。

クラフティアの強みは自社で雇用する技能職の多さだ。ビルや工場などの電気工事と空調などの配管工事を担う2部門で約1100人を抱える。この規模は業界内でも突出しているという。配電工事部門には約1200人がいる。

協力会社に外注せず自前で工事をこなせるようにすることで「顧客の信頼が高まり、受注の継続や新規獲得につな



配電屋外実習場で電柱に登る新入社員（5月、佐賀県基山町）



クラフティアアカデミーの大石雅和学長（5月、佐賀県基山町）

がっている」（大石学長）。同社の好業績を支える人材を育て、現場に送り出している、まさに「虎の穴」というわけだ。2026年度は新入社員約420人のほぼ半数を技能職が占める。

アカデミーで教え込むのは技能だけにとどまらない。「マイノリティの教育も不可欠だ」（大石学長）。指導員には警察や自衛隊のOBもおり、挨拶を徹底させる。食堂では一礼を求める。寝具は毎日シワがないようにたたみ、角もそろえる必要がある。配管工事部門の新入社員、村上祐太さんは「週に一度の部屋点検が厳しい」と漏らす。

礼儀や規則の順守を重視するのは、ひとたび規律が緩めば感電や転落、挟まれ事故など命に直結する事故が起きかねないという恐れがあるからだ。研修では過去の労働災害から教訓を学ぶ「安全伝承館」や殉職者の慰霊碑を訪れ、自分事として規律の重要性を再認識させるようにしている。

昨今の産業界では厳しい指導を避ける風潮がある。中途採用や外国人の増加など人材の多様化も進む。そうしたなかでも大石学長は「教育の本質は変わらない。よく説明し主体的に考えさせたり、デジタルツールを活用したりするなど、時代に即した方法に変えていくことが重要だ」と話す。

都市再開発やデータセンターなど建設投資の高まりを背景にサブコン（専門工事会社）に対する注目度は高まる。人材輩出の源であるクラフティアアカデミーが果たすべき役割はこれまで以上に増している。

（福島悠太）

【九州・沖縄 フロントライン】

- ・傾斜50度の坂もグイグイ、キャニコンの草刈り機 世界品質 磨く試験場
- ・幻の大分ブランド魚介 城下かれいや岬ガザミ育苗栽培漁業の拠点
- ・全国の獣医師の卵たちが実習、ニッポン畜産業の未来担う鹿児島施設



クラフティアアカデミー内にある座禅など精神修養を目的とした「朋学庵」（5月、佐賀県基山町）



クラフティアアカデミーの実習室で空調や給排水設備の配管について学ぶ新入社員（5月、佐賀県基山町）

クラフティアアカデミーの概要

所在地	佐賀県基山町
開所	2012年（福岡県筑紫野市から移転）
面積	3万4000平方メートル
主な施設	研修棟、実習棟、宿泊棟
主な研修内容	新入社員研修、部門別研修、階層別研修、経営幹部育成研修

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

許諾番号NK003324 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。